

「東京の森林の将来展望」に対する意見募集の結果

1 募集期間 平成30年9月20日（木曜日）から10月19日（金曜日）まで

2 意見件数 89件

3 主なご意見

項目	ご意見（抜粋）
総論	<ul style="list-style-type: none"> ・都市部住民を中心に、いかに森林や木材への関心を高めるプロモーションを展開していくか、東京都のリーダーシップが重要 ・江戸から東京へ変わり150年の節目にこのビジョンを掲げることは、江戸・東京という都市と多摩の山々との深いつながりを感じさせるタイミングと思う。 ・全都道府県に国を加えたALL JAPANで本気の取組を行えば、50年後には多くの問題を抱えた林業から脱出できるのではないか。
メッセージ1	<ul style="list-style-type: none"> ・今後は、生産機能と保全機能に大別して森林整備を進めていくことが大切。ぜひ、目に見えるような形で施策に反映してほしい。 ・森林区分を明確にし、伐採した木を搬出できないような奥地は、未来に引き継ぐ巨樹の森として、空気と水を育んでもらいたい。
メッセージ2	<ul style="list-style-type: none"> ・多摩産材にも、子供たちが喜ぶキャラクターやロゴなどがあると良い。 ・多摩産材製品の弱い点はデザインと販売力だと思う。既存木製品の原料を多摩産材に置き換えるような取組ができると良い。
メッセージ3	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な理念を掲げた事業者が増え、山村地域が活性化することで、おのずと森林が整備され活用されるようになってくると思う。 ・女性の林業技術者がもっと増えてほしい。
メッセージ4	<ul style="list-style-type: none"> ・東京に大型の野生動物がいるのは知らなかった。知らない人が多いので、動物の活動を見られる（感じられる）ナイトツアーがあれば参加したい。
メッセージ5	<ul style="list-style-type: none"> ・観光が先行せず、島しょ地域の住民の生活が前提となって、ともに発展していく方法を模索してほしい。
メッセージ6	<ul style="list-style-type: none"> ・都市部のニーズをしっかりと把握できる仕組みを作り上げ、木材産業の育成や森林エリアへの観光につながる企画を推進するべきである。 ・「東京シティフォレストライフ」という、これまでに無いライフスタイルに言及しているのは良い。
メッセージ7	<ul style="list-style-type: none"> ・将来、都民が多摩産材を使うことが当たり前になると良い。それには、小さい頃からの教育が大切で、時間のかかる地道な活動こそ継続してほしい。 ・木製の机や遊具に囲まれて過ごせる施設は、親として魅力を感じる。子供のころから木にふれあう機会が多いと、森林に対する意識を持つと思う。

(取りまとめ・公表方法)

- ・1通の中にある、ご意見と考えられる部分を件数としてカウントしています。
- ・ご意見については、明らかな誤字・脱字等、掲載する際に一部表現の修正を行っています。
- ・今回いただいたご意見は、今後の取組等の参考といたします。